

## 光市まち・ひと・しごと創生総合戦略の改定について

### 1 計画改定の趣旨

国が定める総合戦略の地方版として平成27年12月に策定した「光市まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、本市の平成27年度から令和元年度までの地方創生に係る取組みを定めたものです。現行の総合戦略最終年である今年度、国の次期総合戦略として「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」が示される予定であり、地方においても次期地方版総合戦略を作成することが求められることから、国の総合戦略に基づいて、本市総合戦略においても必要な改定をしようとするものです。

※光市総合戦略の考え方や取組みは、第2次光市総合計画に継承され、総合計画の中で実施していますが、地方創生推進交付金の活用（参考資料P8～P12参照）のためにも総合戦略は必要となります。

### 2 国の第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定方針

国では、「まち・ひと・しごと創生基本方針2019」が6月21日閣議決定され、第2期総合戦略策定に向けた基本方針が示されました。これに基づき、国の第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が本年12月には策定される予定です。

#### 【国基本方針の主な内容】

#### (1) 地方創生をめぐる現状認識

- ア 人口減少と少子高齢化は進行していること
- イ 東京への一極集中が継続していること
- ウ 地域経済の状況では、完全失業率、有効求人倍率は改善したが、後継者不足により休廃業・解散企業は増加傾向にあること

#### (2) 第2期に向けての基本的な考え方

- ア 全体の枠組み
  - 第1期の取組みが第2期においても継続されます。
- イ 基本的な考え方
  - 第1期の4つの基本目標を維持しつつ、目標（イ）と（ウ）は、特に重点的に施策の充実を図る。
    - (ア) 地方にしごとをつくり、安心して働けるようにする、これを支える人材を育て活かす。
    - (イ) 地方への新しいひとの流れをつくる。
    - (ウ) 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる、誰もが活躍できる地域社会をつくる。
    - (エ) 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する。
- ウ 新たな視点（主なもの）
  - (ア) 地方へのひと・資金の流れを強化する。（関係人口、地方への寄附・投資等
  - (イ) 新しい時代の流れを力にする。（Society 5.0、地方創生SDGs）
  - (ウ) 人材を育て活かす、誰もが活躍できる地域社会
  - (エ) 民間と協働 など

### 3 光市まち・ひと・しごと創生総合戦略等について

#### (1) 人口ビジョンについて

##### ア 人口の現況

##### (ア) 人口の推計

平成27年度策定の人口ビジョンでは、令和2年（2020年）に5万人を切り、令和22年（2040年）には3万人台、令和42年（2060年）には2万人台になると推計しています。

今回、人口を再推計したところ、全体的に減少しますが、大枠では、人口ビジョン推計と同様になります。

※国の人口推計による、平成26年推計時と今回再推計による令和42年（2060年）国の総人口の差は7.0%であり、本市人口の場合は、5.0%となります。

(単位：人)

	H27 (2015)	R2 (2020) 5年後	R7 (2025) 10年後	R12 (2030) 15年後	R17 (2035) 20年後	R22 (2040) 25年後	R27 (2045) 30年後	R32 (2050) 35年後	R37 (2055) 40年後	R42 (2060) 45年後
人口ビジョン(H27)a	51,389	49,410	47,043	44,416	41,640	39,019	36,578	34,248	31,951	29,635
令和元年推計値 b	51,369	49,186	46,635	43,909	41,060	38,266	35,639	33,149	30,706	28,179
差 b-a	△ 20	△ 224	△ 408	△ 507	△ 580	△ 753	△ 939	△ 1,099	△ 1,245	△ 1,456

※国立社会保障・人口問題研究所の推計方法に準拠した推計

##### (イ) 人口の将来展望

人口ビジョンでは、令和12年（2030年）に45,000人台を、令和22年（2040年）には41,000人台を、令和42年（2060年）には36,000人台を維持すると展望しています。また、総合計画の長期未来展望の人口の展望では、20年後の令和17年（2035年）の総人口が43,800人を上回ると展望しています。

##### ※将来展望の条件

- ①出生率 令和12年（2030年） 1.94（市民希望）  
令和52年（2040年） 2.07（人口置換水準）

- ②社会移動 令和7年（2025年） 均衡（転入と転出の差引きゼロ）

今回、同条件で人口の将来展望を再推計しても、令和12年（2030年）に45,000人台、令和22年（2040年）に41,000人台、令和42年（2060年）に36,000人台を維持、と人口ビジョンと同様の展望となります。また、総合計画の長期未来展望である令和17年（2035年）に43,800人を上回るという展望も、同様の展望となりました。

※国の人口推計による平成26年時の展望と今回再推計による展望では、令和42年（2060年）国の総人口の差は0.1%であり、本市人口の場合は、0.3%となります。

(単位：人)

	H27 (2015)	R2 (2020) 5年後	R7 (2025) 10年後	R12 (2030) 15年後	R17 (2035) 20年後	R22 (2040) 25年後	R27 (2045) 30年後	R32 (2050) 35年後	R37 (2055) 40年後	R42 (2060) 45年後
人口ビジョン(H27)a	51,179	49,695	47,853	45,887	43,817	41,959	40,366	38,985	37,686	36,411
令和元年推計値 b	51,369	49,491	47,611	45,828	43,890	41,945	40,231	38,782	37,615	36,532
差 b-a	190	△ 204	△ 242	△ 59	73	△ 14	△ 135	△ 203	△ 71	121

※H27人口ビジョンは人口移動統計調査数値

(ウ) 人口の実績

人口展望よりも推計値に近い人数で推移しています。

(単位：人)

	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)
○人口推計 A	50,993	50,597	50,201	49,805
○人口の展望 B	51,034	50,699	50,364	50,029
○実際の人口 C	51,040	50,594	50,143	49,745
前年からの自然増減	△ 309	△ 315	△ 369	△ 316
出生	357	339	307	195
死亡	666	654	676	511
前年からの社会増減	△ 20	△ 131	△ 82	△ 82
転入	1,480	1,542	1,540	1,101
転出	1,500	1,673	1,622	1,183
推計との差 C-A	47	△ 3	△ 58	△ 60
展望との差 C-B	6	△ 105	△ 221	△ 284

※人口推計及び展望は、5年毎でしか推計していないため、5年間の差を均等分割しています。

※各年10月1日現在人口（山口県人口移動統計）

※R1年は、令和元年6月1日現在の人口（山口県人口移動統計）

※R1年の自然増減と社会増減は、8ヶ月分

(エ) 3区分別人口割合の展望

3区分別人口の展望の再推計結果は、人口ビジョンに近い割合となります。また、総合計画の長期未来展望の人口の展望では、20年後、年少人口12.5%程度、生産年齢人口52.5%程度、老年人口35.0%程度と展望していますが、今回の再推計では、年少人口13.5%、生産年齢人口51.2%、老年人口35.2%程度と概ね近い値となっています。

割合	H27 (2015)	R2 (2020) 5年後	R7 (2025) 10年後	R12 (2030) 15年後	R17 (2035) 20年後	R22 (2040) 25年後	R27 (2045) 30年後	R32 (2050) 35年後	R37 (2055) 40年後	R42 (2060) 45年後	
年少	人口ビジョン	12.7%	12.2%	12.0%	12.2%	12.9%	13.9%	14.6%	15.1%	15.1%	15.2%
	令和元年再推計	12.4%	11.2%	10.8%	11.9%	13.5%	14.6%	14.5%	14.3%	14.7%	15.7%
	差	-0.3%	-1.0%	-1.2%	-0.3%	0.7%	0.7%	-0.1%	-0.8%	-0.4%	0.5%
生産年齢	人口ビジョン	53.8%	52.8%	52.8%	53.1%	52.5%	50.3%	49.8%	50.7%	52.5%	54.0%
	令和元年再推計	53.9%	53.1%	53.1%	52.7%	51.2%	48.8%	48.7%	50.2%	51.7%	53.5%
	差	0.1%	0.3%	0.3%	-0.4%	-1.3%	-1.5%	-1.0%	-0.5%	-0.8%	-0.5%
老年	人口ビジョン	33.1%	35.1%	35.2%	34.7%	34.6%	35.8%	35.6%	34.2%	32.4%	30.8%
	令和元年再推計	33.7%	35.7%	36.1%	35.4%	35.2%	36.7%	36.8%	35.5%	33.7%	30.8%
	差	0.7%	0.7%	0.9%	0.7%	0.6%	0.8%	1.2%	1.3%	1.2%	0.0%

イ 人口ビジョンの取扱いについて

光市人口ビジョンは、本市における人口の現況を分析するとともに、市民と認識を共有し、今後目指すべき将来の方向と人口の将来展望を示すものですが、再推計において、現行の「光市人口ビジョン」に示す人口推計との大幅な乖離がないこと、また、現行のビジョンに示す人口の将来展望に係る数値については、第2次光市総合計画の長期未来展望に反映させ、現在、この展望に基づいた取組みを進めている段階であることから、「光市人口ビジョン」については、変更しないこととします。

## (2) 総合戦略の改定方針

ア 国の総合戦略との整合を図る。

(ア) 4つの政策目標

本市の総合戦略に掲げる4つの政策目標は、国が掲げる4つの基本目標に基づいており、国総合戦略において基本目標は引き継がれることから、本市も政策目標を引き継ぎます。

- ①政策目標1「産業振興と雇用の創出」
- ②政策目標2「都会からの移住促進と定住支援」
- ③政策目標3「結婚・出産・子育ての希望実現」
- ④政策目標4「時代にあった都市経営」

(イ) 総合戦略は切れ目なく移行する。

令和元年度で総合戦略期間が切れることがないようにする必要があります。

イ 現在の総合戦略を基本に、部分的な見直しとする。

国の総合戦略における基本的な政策目標が変わらないことや、市人口ビジョンにおける推計や展望に大きな変動がないことなどから、現在の総合戦略をベースとし、大幅な内容の変更は行いません。

【例】・国の考え方を踏まえると、新たな視点である「関係人口」、「SDGs」などに関する記載を加える。

ウ 光市総合計画との整合を図る。※現在も内容は整合

(ア) 計画期間

現行の総合戦略の内容は、議決計画である総合計画に取り入れ、一体的な推進を図っています。総合計画との整合性を確保するとともに、地方創生推進交付金の効果的な活用を念頭に、総合計画に掲げた新たな取組みを総合戦略に反映させます。また、総合戦略の期間を2年間延長し、第2次総合計画の終期に合わせます。これにより、総合戦略と総合計画の期間のズレを解消することもできます。

年度	H27	H28	H29	H30	H31 (R1)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	
総合計画			第2次総合計画			第3次総合計画(仮) 一体的に策定						第4次総合計画(仮)						
総合戦略	まち・ひと・しごと総合戦略				→2年延長		第2期光市総合戦略				※目標値はR6とR8を設定				一体的に策定			
						国の総合戦略期間												
											国の総合戦略期間							

(イ) 目標値

現行では今年度末の目標値を設定しているため、総合計画の終了年度である令和3年度までの目標値に置き換えます。

## 4 総合戦略の評価・検証

(1) 事業着手率（総合計画成果指標の一指標）

総合戦略に掲載している事業例の数 196 事業

うち着手済みの事業 193 事業

事業着手率 98.5%

(2) 成果目標及び施策目標（総合計画評価書に掲載）

改定までの最終的な結果（令和元年実績値）は、令和2年度から3年度で行う次期全面改定時に活用します。

施策目標については、現時点で目標値を達成しているものや策定時から改善が見られるものが多くを占めますが、その成果が成果目標に直結せず、成果目標を達成したものと改善しているものは少ない状況です。これは、施策目標は事業実績から計るものが多い一方で、成果目標は市民アンケートの満足度から計る項目が多いことが要因のひとつだと考えられます。

（単位：目標設定数）

平成30年度版		目標数値に向かって					合計
		達成	改善	変化なし	悪化	未定	
政策目標1 産業振興と雇用の創出	成果目標	1			1	1	3
	施策目標	3	7		2	4	16
政策目標2 都会からの移住促進と定住支援	成果目標	1			2		3
	施策目標	7		1	4		12
政策目標3 結婚・出産・子育ての希望実現	成果目標				2	1	3
	施策目標	12	5		4	5	26
政策目標4 時代にあった都市経営	成果目標		1		2		3
	施策目標	8	4	2	4		18
計	成果目標	2	1		7	2	12
		16.7%	8.3%	0.0%	58.3%	16.7%	100.0%
	施策目標	30	16	3	14	9	72
		41.7%	22.2%	4.2%	19.4%	12.5%	100.0%

### （3）市民意識

まちづくり市民アンケートに、平成27年に実施した「地方創生に関するアンケート」の項目の中から、総合戦略目標値の評価に必要な出産・子育てに関する現状や意向に関する項目を追加します。

- ・現在、お子さんが何人いますか。 ・何人のお子さんを育てる予定ですか。
- ・理想のお子さんの数は何人ですか。

## 5 第2期光市総合戦略は、次期総合計画と一体的に策定

人口については、次期総合計画策定時（令和2年度～3年度）に、再度、推計及び展望を行います。また、総合戦略として取り組む内容については、現行と同じように、次期総合計画の中を含むように総合計画と一体的に策定します。一体とする具体的な方法については、今後、検討します。

## 6 スケジュール

- ・令和元年11月 改定の中間案
- ・令和元年12月 議会中間報告  
パブリックコメント実施
- ・令和2年3月 議会委員会報告  
総合戦略改定（確定）

## 7 参考資料

### （1）改定のイメージ



## I 光市まち・ひと・しごと創生総合戦略とは

### 1 趣旨

#### (1) 位置付け

令和42年

「光市まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、~~平成72年~~（2060年）の本市の人口を展望する「光市人口ビジョン」に掲げる「目指すべき未来の方向」に沿って、「まち」「ひと」「しごと」の好循環を生み出し、人口減少と地域経済縮小を克服するための、当面5年間の目標や取組みの方針、具体的な施策を示すもので、まち・ひと・しごと創生法（平成26年法律第136号）第10条に基づく市町村まち・ひと・しごと創生総合戦略として位置付けます。

#### (2) 本市が進めるまちづくりとの関係

まち・ひと・しごとの創生は、人口減少社会の中において本市が目指すまちづくり、すなわち、人々が「幸せ」を実感できる「ゆたかな社会」づくりと方向性を同じくするものであることから、策定にあたっては、国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」及び県の「山口県まち・ひと・しごと創生総合戦略」を尊重しつつ、「ゆたかな社会」を実現するための諸条件のうち、まち・ひと・しごとの創生に特化したとりまとめを行いました。

本戦略に掲げた人口対策や都市の活力創出対策の考え方や内容は、第2次光市総合計画に継承することを前提とします。

### 2 対象期間

令和3年度（2021年度）

7

平成27年度（2015年度）から~~平成31年度（2019年度）~~までの5か年を計画期間とします。

▶ 基本戦略② 「おいでーね！光へ」移住・定住促進戦略

1 戦略の内容

本市では、高校卒業後に故郷を離れて、隣接県や都会に向かう若者が多くなっており、人口減少の大きな要因となっています。この流れを食い止めるため、若者の県内進学や就職の促進に努めるとともに、都会から地方への移住希望者を本市に呼び込めるよう、きめ細かな相談・受入体制の整備を進めるなど、本市への定住・定着を支援します。

2 具体的施策・事業と施策目標

施策の内容と実施事業		施策目標 (重要業績評価指標：KPI)	
		内容	
施策	主要な事業例	基準値	目標値
<b>移住・定住情報の発信</b>  移住・定住に関心を持つ人や実際に希望する人に、移住先、さらには、終の住みかとして「光市」を選んでもらえるよう、的確な情報を届けます。	○移住・定住相談体制の充実 ○移住セミナー等での情報の発信 ○U J I ターン情報サイト・全国移住ナビの充実 ○人口定住促進プロモーションビデオの制作と活用（再掲）  ○「関係人口」の創出・拡大	移住・定住相談件数	
		3 件 (H26)	240件 <del>60件</del> <del>(H31)</del> R3
		光市の移住関連ページへのアクセス数	
		2,186 件 (H26)	15,000件 3,650件 <del>(H31)</del> R3
<b>移住者の“住む”と“働く”の安心サポート</b>  移住において課題となる“住む”と“働く”を支援し、移住者が新たな生活を安心してスタートできるよう、まちぐるみでサポートします。	○光市での暮らしを体験する機会提供の検討 ○空き家情報バンクなど移住希望者を対象とした住宅支援の充実 ○公営住宅入居基準の見直し ○移住希望者を対象とした就業支援の充実 ○市職員「ひかりU J I ターン」採用枠の導入 ○新規就業者（ニューファーマー、ニューフィッシャー等）への定住支援の充実（再掲） ○中小企業等における雇用奨励制度の充実（再掲）	生産年齢人口（15-64 歳）の転入者数	
		1,077 人 (H26)	1,200人 1,150人 <del>(H31)</del> R3
		空き家情報バンクの成約件数	
		—	25件 10件 <del>(H31)</del> R3